

～平成22年度 県内中性子利用連絡協議会活動を集大成して～

“成果発表会” 開催 …… 3/9

於いばらき量子ビーム研究センター

3月9日(水) 13時30分から、いばらき量子ビーム研究センター多目的ホールにおいて、会員・関係者65名参加のもとにH22年度成果発表会が開催されました。



中嶋室長ご挨拶 特別講演・今西氏

当日は、冒頭、県を代表して 商工労働部産業政策課産学連携推進室中嶋室長の挨拶がありました。続いて事務局から協議会及び分科会活動の報告を行い、主要研究成果の報告、年間の活動を総括レビューすると共に会員企業のご協力に対する謝意が伝えられました。

特別講演として 元(株)東芝統括技師長の今西正一氏から「東芝の家電商品開発のブロが開発秘話を語る」

と題して、開発への熱い思いを披露戴きました。

その他、中性子ビームラインの測定事例を企業と支援研究機関から、また、J-PARCの装置や機器に関する今後の建設・製作計画が研究者から紹介され、参加企業の強い関心を集めました。

報告会の最後には、研究者と企業参加者が一堂に会して交流会を開催し、活発な議論と共に名刺交換を通して、これ迄以上に相互の親交を図りました。



親交を図る研究者と企業関係者(交流会)

J-PARC 物質・生命科学実験施設

技術見学会・技術説明会 …… 3/4

3月4日(金)、13時50分からJ-PARC/物質・生命科学実験施設(MLF)において、3本のビームライン(BL01、BL14、BL19)に付帯する機器/装置の見学会と 参加企業が研究者に向けてそれぞれが保有する得意技術を



紹介する説明会が実施されました。当日は施設案内を戴いた方々を含めて6名の研究者にご参加戴き、研究者からは具体的なニーズが語られ、他方企業からは施設機器への忌憚のない質疑が飛び交い双方がWin-Winのひと時を持つことが出来ました。

今回の企画をひとつのきっかけに、今後共研究者と企業との一層の相互連携深化が期待されます。



弁舌爽やか、施設説明

ビームホール見学

装置を間近に

東北地方太平洋沖地震発生に伴う J-PARCの現状について

(「J-PARCに関するお知らせ」他から引用)

- ・地震発生時リアックは運転中でしたが、直ちに自動停止しました。津波の影響はなく、負傷者も出さかつ放射線の問題も生じておりません。
- ・実験室から外に拡張して作った中性子ラインには垂直方向30cmの段差など大きな損傷が見られます。

- ・電源室、液体窒素タンクに傾き、外周道路に陥没が見られ、J-PARCへの入構は制限されております。
- ・今後、照明等電源の復旧に伴い逐一精査されますが再稼動までにはかなりの時間を要するものと予想されます。(参照URL <http://j-parc.jp/ja/html>)

【付記】

- ・今後の、J-PARC及び県ビームライン情報にご注目ください。
- ・協議会では引き続き情報収集とその周知に努めて参ります。

会員(法人)異動のお知らせ

(H23年3月31日現在/敬称略)

- ◆ 新規入会 (合計加入企業数：219社)
 - ・ (株)イデア / 仁衛 琢磨 (代表取締役)
〒305-0047 つくば市千現 2-1-6
つくば研究支援センター CB9
電話：029-852-8661 FAX：029-852-8661
 - ・ (有)ヒルカワエンジニア/ 蛭川 徳康 (専務取締役)
〒312-0062 ひたちなか市高場1176
電話：029-354-0082 FAX：029-354-0085

震災のお見舞い

この度の大震災にて被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

***** J-PARCニュース第70号発行 *****
第70号が発行されました。URLは下記の通りです。
<http://j-parc.jp/ja/j-news.html>